

竹腰重丸 **サッカー選手で指導者。日本サッカー界の大先達で'サッカーの神様'。**

たけのこししげまる
満鉄発足・1906 = 大分県北部郡臼杵町海部で生まれる。

明治天皇没・1912 = 6歳 :

21ヶ条要求・1915 = **9歳** :

ロシア革命・1917 = 11歳 : この年、東京芝浦で開催された第3回極東大会で、初めて日本代表がサッカーに出場し、ブーム化。

水平社結成・1922 = 15歳 : 臼杵尋常小学校を卒業。

八咫鳥条約・1919 = 13歳 : 中国の大連一中に転校し、服部校長のサッカー奨励策に出会う。

原敬首相暗殺 1921 = 14歳 : この年、大日本蹴球協会(日本サッカー協会の前身)が設立される。

水平社結成・1922 = 15歳 : 卒業して帰国、山口高等学校に進学して、サッカーへの傾倒が強まり、

関東大震災・1923 = 16歳 : この年、東大学生野津謙の提唱で全国高校大会が始まると、山口高等学校は早速出場、初戦敗退の相手早稲田高等学院は創部間もないながら留学中のビルマ人チョウ=ディンの指導を受けて優勝し評判となり、関東大震災で授業中断したチョウ=ディンが自らの著書「HOW TO PLAY ASSOCIATION FOOTBALL」を抱えて全国巡回指導すると聞くと、山口に来てもらい、その理論的指導に感服、早速上京してチョウ=ディンに付いて歩き始め、のめりこんで行く。

護憲三派圧勝 1924 = **18歳** :

治安維持法・1925 = 19歳 : 卒業し、東京帝国大学医学部薬学科に入学。第7回極東大会の日本代表チームに補強選手として入り、初めての海外遠征のマニラで中華民国に敗退、薬学科では実験のため時間がとれず、農業経済に転科し、

円本時代始・1926 = 20歳 : ***ア式蹴球部で関東大学リーグを初制覇、その後6連覇と続く東大黄金期の礎を築く。**

世界恐慌・1929 = 23歳 : 卒業。帝国農会に就職する一方、日本蹴球協会理事に就任。

海軍軍縮条約 1930 = 24歳 : この年、ワールドカップが始まる。極東大会では、主将として日本代表を率い、同率優勝を勝ち取る。

満州事変・1931 = 25歳 :

五一五事件・1932 = 26歳 : この年のロサンゼルス・オリンピックでは、サッカーが競技種目から除外される。

国際連盟脱退 1933 = **27歳** : サッカーに時間を割くために帝国農会を退職し、東京帝大の体育講師となる。

帝人疑獄事件 1934 = 28歳 : 極東選手権ではサッカー日本代表監督を務めるも惨敗、その経験を踏まえ、

二二六事件・1936 = 30歳 : ***ベルリン・オリンピックの日本代表選手兼コーチとして参加、最強メンバー構成で臨み、優勝候補スウェーデンを破るも、イタリアには大敗。これを最後に現役を引退、**

日中戦争始・1937 = 31歳 :

総動員+健保 1938 = 32歳 : 再び日本代表監督となり、日満華交歓競技大会と、

大政翼賛会・1940 = 34歳 : 紀元二千六百年奉祝東亜競技大会で代表を率いたが、日中戦争泥沼化で、東京オリンピックは開催中止となり、世界サッカーへの道が閉ざされる。

日米開戦・1941 = 35歳 :

近代の超克・1942 = **36歳** :

敗戦・1945 = 39歳 : 海軍士官としてセレベス島にいるうち、敗戦。

新憲法公布・1946 = 40歳 : 無事に復員を果たし、東京大学に復職、第1回国民体育大会サッカー決勝に選手としてラスト舞台、

極東裁判決・1948 = 42歳 : ***日本サッカー協会理事長に就任し、日本サッカー再建に着手。**

独立回復・1951 = **45歳** :

テレビ放送始・1953 = 47歳 : 東大矢内原総長の計らいで庶務課長から体育講師に異動して、国際学生競技大会選手団団長を務め、

自衛隊発足・1954 = 48歳 : ***FIFAワールドカップの予選、アジア競技大会などの試合で日本代表チーム監督、**

国連加盟・1956 = 50歳 : ***メルボルンオリンピックにも日本代表チーム監督となり、予選を突破して、本大会に出場。**

一旦代表チームの指導からは離れたが、

イスタトレマ・1958 = 52歳 : ***再び日本代表監督に就任。**

美智子妃・1959 = 53歳 : ***ローマオリンピック予選に挑むが、韓国代表に敗れ出場を逃した。**

安保闘争・1960 = **54歳** :

TV宇田中継始 1963 = 57歳 : 結婚式の仲人を務めた際、40分のサッカー・スピーチをして話題に。

その後は長沼健、岡野俊一郎ら若い世代の指導者に代表チームを託すと、自らは長く日本サッカー協会の理事職を務め、

全共闘一斉・1969 = **63歳** :

石油ショック 1973 = 67歳 :

角栄金脈辞任 1974 = 68歳 : 野津謙協会会長と共に、***日本サッカー協会の法人化の実現を機に、理事長を辞任。**

***日本サッカー協会の顧問を続けて、**

成田衝突・1978 = **72歳** :

貿易摩擦問題 1980 = 74歳 : 東京都文京区で、脳卒中により、***没した。**

2005年に設立された日本サッカー殿堂入りした。